

# 2014 花園大学 先生のおすすめ図書

v.2.0 2014 SEPTEMBER

花園大学の先生が選んだ、皆さんにぜひ読んで欲しい本のリストです。先生のコメントが付いています。図書館1階の「おすすめ図書コーナー」に配置してあります。貸出することもできます。

## 花園大学情報センター(図書館)



### 参禅入門 新版

大森曹玄著  
春秋社 2009

文学部 仏教学科 清水大介

坐禅の手引書・ハンドブックとして今日最良の書。道を志す者に痒いところ、深いところまできちんと説明されている。著者は家族をかかえながら生活の貧窮の中で、禅、剣、書の奥義を究め、後進の指導をされた。本学の教授・学長にもなった。元来理知的な人であり、法理が透徹している。講談社学術文庫版も出ている。その他の坐禅の優れた手引書としては、原田祖岳「正しい坐禅の心得」(大蔵出版)や、芋坂光龍「在家禅入門」(大蔵出版)がある。

<請求記号>  
189.173/O 63



### 西洋の書物工房：ロゼッタ・ストーンからモロッコ革の本まで

貴田庄著  
朝日新聞出版 2014

文学部 日本史学科 菅修一

私が担当する講義に「図書及び図書館史」がある。講義の初回は、紙以前の記録媒体、紙の発明、紙の伝搬といった話をするのだが、受講者からは、紙の歴史というものもあるのですね、面白かったですとの感想があった。折角興味を持って下さった学生さん、この本など読んで、さらに奥深く学んでいただければと思います。

<請求記号>  
022/Ki 12



### お寺の教科書：未来の住職塾が開く、これからのお寺の100年

松本紹圭,井出悦郎著  
徳間書店 2013

文学部 仏教学科 吉田毅禮

現代社会におけるお寺の役割や運営を考える上で啓発を促す一書。寺院はもともと公益性が高く無限の価値と可能性をもっている。本書はその潜在力をいまいちど考え直すひとつのきっかけを与えてくれるでしょう。

<請求記号>  
185/Ma 81



### 日本近代史学事始め：一歴史家の回想

大久保利謙著  
岩波書店 1996

文学部 日本史学科 松田敬之

名前から連想出来るかもしれませんが、著者は、あの維新の元勳大久保利通の孫で、戦前は侯爵・貴族院議員の地位にあった人物です。また歴史学の研究者であり、戦後は名古屋大学・立教大学の教授をつとめた日本近代史の泰斗でもあります。戦前・戦後を生きた歴史家の興味深い話がたくさん載っている本です。近現代史を学ぶ人だけでなく、広く歴史に興味のある学生諸君に読んで欲しい一冊です。

<請求記号>  
080/4-4-427



## 日本の経済格差：所得と資産から考える

橋本俊詔著

岩波書店

1998

文学部 日本史学科 山中高光

サッカーW杯がサッカー王国ブラジルで始まったが、W杯反対のデモが続いていると報道されている。背景には「スタジアムでなく教育や医療を」という庶民の不満があるという。経済格差に起因する問題が世界で頻発し、日本も形は異なる(デモではなくて例えば自殺)が例外ではない。本書は日本の経済格差の拡大と対処などを指摘したエポックメイキングなものである。本書を手始めに格差・貧困・公正・経済成長・・・などに関する読書と思索を提案したい。

<請求記号>

080/4-4-590



## インド人の論理学：問答法から帰納法へ

桂紹隆著

中央公論社

1998

文学部 文化遺産学科 師茂樹

かつて、奈良の興福寺や東大寺などで行われた大法会では、お坊さんが問答したり議論したりするのがメジャーだった。そしてここでは「因明」(いんみょう)が必修科目だった。因明とは、インド人が発明し、仏教が育て、三蔵法師・玄奘が中国に伝えた論理学の一種である。中国では早く忘れられたが、日本では江戸時代まで研究が続けられ、法会などで使われ続けた。明治以降に忘れられてしまったが、逆に中国ではリバイバルが起きたりしている。タイトルは「インド人」だが、アジア全体の隠れた文化について書かれた貴重な概説書。

<請求記号>

中公新書/1442



## オリジナルの行方：文化財を伝えるために

東京文化財研究所編

平凡社

2010

文学部 文化遺産学科 後藤真

文化遺産はどこまで「オリジナル」なものなのでしょう。長い歴史を経てきた文化財を持つ価値は、生まれた瞬間にあるわけではなく、長い歴史自体によって生じてきたものなのです。そのような文化財を書蹟・絵画・建築・写真・仏像などさまざまな例を取り上げながら説明していきます。一つのトピックが短く書かれているので、読みやすいのも特徴です。

<請求記号>

709/Ko 49



## 奈良伝説探訪

丸山顕徳編

三弥井書店

2010

文学部 日本文学科 丸山顕徳

神話伝説の研究は、伝承されている現地を「歩いて考え、考えて歩く」というのが基本である。この本は、この基本を習得する便利で、かつ丁寧な作られた本である。日本の伝統を現在まで伝えた奈良の文化を取り上げ、様々な角度から20名の斯界の専門家によって執筆されたものである。この本から「歩きつつ学ぶ」を習得していただきたい。

<請求記号>

388.165/Ma 59



## 古墳時代の葬制と他界観

和田晴吾著

吉川弘文館

2014

文学部 文化遺産学科 高橋克壽

「古墳とは何か」。本書は、この問いに対する答えのために、古墳で行われた人びとの行為を具体的に検討・復元すること、すなわち葬送の思想や儀礼を解明することをめざした著者の一連の研究を集約したものである。単に古墳に興味もっているだけという読者から、専門的な研究を実践している読者まで、幅広く読まれ、古墳のおもしろさや著者の洞察の鋭さを堪能できる一書となっている。

<請求記号>

210.2/W 12



## 「かわいい」論

四方田犬彦著

筑摩書房

2006

文学部 創造表現学科 今井隆介

かわいいって何？ フナッシーってキモいの？かわいいの？ オトナかわいいってどんな人のこと？ 「かわいい」は日本を埋め尽くしただけでなく、海を渡って今や世界の共通語になりつつあります。日本に生まれ育って、かわいいについて知らない・説明できないのは恥ずかしいことになるかもしれません。学生のうちにこの本を読んでおきましょう。子どもがかawaiiと思う人だけでなく、お年寄りもかawaiiと思う人にも是非お薦めします。

<請求記号>

ちくま新書/578



## ぎりぎり合格への論文マニュアル

山内志朗著

平凡社 2001

文学部 創造表現学科 秦美香子

論文は感想文でもエッセイでもなく「論文」になっていることが大事です。「イタリア料理店でパスタを頼んで、かけそばが出てくれば、いかにおいしいかけそばであろうと突き返されるのがオチである」(p.14)。じゃあ「論文」って何なんだろう？ それを面白く(←ここ大事！)教えてくれるのがこの本です。とくに、レポートや卒業論文のテーマを決められない人、自分は研究に向いていないと思っている人は、ぜひ手にとってみてください。

<請求記号>  
平凡社新書  
/103



## 社会学 第5版

アンソニー・ギデンズ著

而立書房 2009

社会福祉学部社会福祉学科 八木晃介

理論社会学の最前線をゆくイギリス社会学者による概説書。ギデンズは中道左派の論客として知られ、一時イギリス・ブレア政権のブレーンとして活躍したものの、アメリカのイラク攻撃を支持したブレア政権に失望して離れる。この書物は、国際的にもっとも広く流通している社会学教科書といってよい。かなり大著であり、全部を読み通すにはかなりの根気が必要だが、社会学を自分のものになりたい人にはお勧め本。

<請求記号>  
361/G 42



## 氷川下セツルメント史：半世紀にわたる活動の記録

氷川下セツルメント史編纂委員会

エイデル研究所 2014

社会福祉学部社会福祉学科 梅木真寿郎

セツルメントは、ソーシャルワークの源流の一つと考えられています。日本においても「東京帝国大学セツルメント」として一世を風靡しました。大学生たちの高い志と、社会的問題に真摯に向き合い、まさに体あたりしていく姿には、ただただ脱帽です。地域社会が多様な課題を抱える昨今、「学生たちによる実践」から学ぶことは少なくありません。この本を読んで、「自分なら何ができるのか」について考えてほしいと思います。

<請求記号>  
369.7/H 57



## 生活保護から考える

稲葉剛著

岩波書店 2013

社会福祉学部社会福祉学科 吉永純

生活保護というと、マイナーな日陰者という印象を持っている人が多い。しかし、著者は、「人間を「生」を無条件で保障し、肯定すること」が生活保護の本当の意味だという。この本を読むことによって、人間とは？ 生きるとは？ 貧困とは？ 福祉とは？ 私たちが、大学での勉強や、日常生活、さらに人生の転機において自問することになるこれらのテーマについて、やさしく答えてくれます。

<請求記号>  
岩波新書/1459



## アルジャーノンに花束を

ダニエル・キイス[著]

早川書房 1999

社会福祉学部社会福祉学科 福富昌城

知的な障害がある青年チャーリーは、知的能力が向上する外科手術を受けて天才となるが…というSF小説。1950年代のアメリカが舞台であり、知的能力が高まるにつれて文体が変わっていくところや、最後に一行に向けて展開していくストーリーなど、小説として読み応えがある。しかし、本書には「障害とは何か」「社会的弱者といわれる人たちをわたしたちはどう理解したらよいのか」といったテーマが隠れている。また21世紀版『アルジャーノンに花束を』といわれる、自閉症が治療可能となった近未来を舞台に、障害をもっていることの意味を問いかける『くらやみの早さはどれくらい』(早川書房)もおすすめです。

<請求記号>  
ダニエル・キイス  
文庫/1



## マンガでわかる! 統合失調症

中村ユキ著

日本評論社 2011

社会福祉学部社会福祉学科 渡辺恵司

統合失調症について、家族、当事者目線での漫画で描かれています。とてもわかりやすく、活字が苦手な方もスラスラと読める1冊です。

<請求記号>  
493.76/N 37



## 第2図書係補佐

又吉直樹[著]

幻冬舎 2011

社会福祉学部臨床心理学科 小川恭子

「読書芸人」を自称する著者の大好きな文学作品に対する思いが詰まっている本です。芸人さんらしく個性的なエピソードが多いのですが、自意識に悩む一人の人間として共感できる部分も随所にみられます。味わい深い文章が綴られており、いわゆるタレント本とは一線を画しています。これからどんな本を読もうかと考えている人におすすめです。後に出版された著者のエッセイ集「東京百景」もあわせておすすめです。

<請求記号>

幻冬舎よしもと  
文庫/Y-17-1



## プロチチ 1~4

逢坂みえこ著

講談社 2011

社会福祉学部臨床心理学科 橋本和明

発達障害を持つ大人の問題は子育てにも大きな影響を与えている。こだわりがあって育児がスムーズにいかなかったり、見通しが持てずに予定通りの行動がとれないなど…。そんな親にとっても参考となり勇気付けてくれる本(漫画)がこれである。大人の発達障害のことを理解するにも役立つし、子育て支援のためにも必見である。

<請求記号>

Q/O 73/1~4



## 女子の人間関係：整理整頓

水島広子著

サンクチュアリ出版 2014

社会福祉学部臨床心理学科 小谷裕実

悩ましい女子の人間関係について、対人関係療法の専門家である精神科医が分析、解決方法も教えてくれる。女子のみならず、男子にも必携の本書。男女が互いに尊重し合える真に平等な社会を築くために、何が必要か…まずは自分の身近なところから足固めを。

<請求記号>

361.4/Mi 96



## 社会福祉用語辞典：福祉新時代の新しいスタンダード 第9版

山縣文治、柏女霊峰編集委員代表

ミネルヴァ書房 2013

社会福祉学部臨床心理学科 藤井渉

解らない用語に出会ったとき、ついついネットで検索することが多いと思います。ですが、ネットでは正しい情報とは限りませんし、ヒットしないことも良くあります。福祉用語を正確に学習するためにも、辞典を手元に置いて検索する習慣を身につけてください。二度・三度と引いているうちに、意外と記憶に残ったりもします。

<請求記号>

369/Y 22



## 夜と霧 新版

ヴィクトール・E・フランクル[著]

みすず書房 2002

社会福祉学部臨床心理学科 丹治光浩

精神科医のV. E. フランクルが強制収容所経験に基づいて書き上げた作品で、1946年に出版されて以来、今なお読み継がれている世界的ベストセラーです。人間とは何か、生きるとは何かについて私たちに鮮烈な問いを投げかける名著中の名著と言っても過言ではなく、何度読んでも新たな感動が得られること必至です。アラン・レネ監督によって映像化されたDVDがHUMICにもありますので、合わせてご覧ください。

<請求記号>

946/F 44



## 幼児期：子どもは世界をどうつかむか

岡本夏木著

岩波書店

社会福祉学部臨床心理学科 渡邊実

幼児期の子どもの発達について、わかりやすい文章で書かれており、幼児に関わる仕事につこうとする学生や、子育てにおいては必読書である。特に、子どもの側から見た「しつけ」のあり方について、「子どもにとってのしつけは、問題解決学習の場である」とする考えは、今後の人生全般にとっても非常に大切である。

<請求記号>

岩波新書：新赤  
版/949



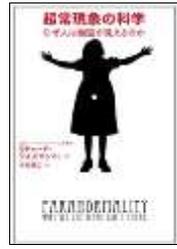
### 絆づくりの遊びの百科：伝承遊びから現代風遊びまで205種

矢木一美[ほか]著  
昭和堂 2012

社会福祉学部児童福祉学科 青木好子

歴史というフィルターで淘汰されながら、子どもにおもしろく楽しく伝えられてきた遊びがたくさんあります。こうした昔から伝わる遊び(伝承遊び)は「学び」と「育ち」を促す機能が備わっています。この本では、伝承遊びを現代風にアレンジしたものも含めて、205種類紹介しています。紹介されている遊びをもとに、みなさん自身がいろいろな人とさらに工夫を加えていただくこともOKです。保育や教育、福祉など様々な現場で活用していただけたらと思います。

<請求記号>  
781.9/Y 15



### 超常現象の科学：なぜ人は幽霊が見えるのか

リチャード・ワイズマン著  
文藝春秋 2012

社会福祉学部児童福祉学科 保田恵莉

自称霊能者が存在する理由とマインドコントロールの恐怖について、科学的に考察した魅力の一冊。最先端科学実験より明かされる人の認知システムの盲点が次々と記されている。占い師・超能力者・予言者・ポルターガイスト・降霊術・体外離脱・カルト教団等、騙しの手口は様々であり、リチャード・ワイズマンの洗脳術とその論理に学生の好奇心は大いに揺さぶられるであろう。

<請求記号>  
147/W 78



### ポップアップ人体図鑑：等身大ポスターがとびだす!

リチャード・ウォーカー著  
ポプラ社 2012

社会福祉学部児童福祉学科 片山由美

人のからだのしくみは、精密にできています。本書のように、平面で表されたものを参考に、臓器などの位置を知ること大切ですが、自分の身体を外から触れ、確認できるものも多くあります。そのようにして、人のからだを立体化して理解することが大切です。健康な人や疾患を持つ人への援助を学習する人には必見です。

<請求記号>  
491/W 36



### 世界の幼児教育・保育改革と学力

泉千勢[ほか]編著  
明石書店 2008

社会福祉学部児童福祉学科 吉田貴子

様々な国の幼児教育や保育に興味のある人は読んでみてください。この本を読むことで、日本の保育について考えるよい機会にもなります。

<請求記号>  
376.12/I 99



### 子どもが語る施設の暮らし

『子どもが語る施設の暮らし』編集  
明石書店

社会福祉学部児童福祉学科 佐々木和子

初めていく実習施設であるため不安があると思います。少しでもその施設を利用する子どもやそこでやむなく生活をしている子どもの姿を知ってほしいです。施設で暮らす子ども自身が書いた思いを受け止め、実習に向けてあなたの気持ちを整理するうえでも読んでほしい一冊です。

<請求記号>  
369.4/Ko 21



### けっこう面白い授業をつくるための本：状況をつくりだす子どもたち

松森俊尚著  
現代書館 2014

教職課程 中善則

「ほんとうは ともだちがきらいな人はだれもない ほんとうは 学習がきらいな人はだれもない」というのが、本書の筆者である松森先生の信念です。子どもたちを信じて、待って、松森先生は授業をつくっていきます。子どもたちの深い学びあい様子をぜひ読んでみてください。こんな授業づくりを考えませんか。

<請求記号>  
375.1/Ma 81



## オノマトペ擬音・擬態語をたのしむ

田守育啓著  
岩波書店 2002

外国語教育課程 有吉淳一郎

みなさん、「オノマトペ」という言葉をご存知でしょうか。犬の「ワンワン」や笑顔の「ニコニコ」など、擬音語や擬態語などの総称です。私たちはご飯を「さくっ」と食べたり、プールで「すいすい」泳いだりするわけですが、このように「さ」や「す」で始まるオノマトペはよく「滑らかさ」を意味します。これらは[s]の音で始まりますね。興味深いことに英語でも、[s]で始まる語はslideのように滑らかさを表します。これはなぜでしょう。この本はオノマトペの豊富な事例とともに、言葉の不思議を解き明かしてくれます。

### <請求記号>

814/Ta 81  
814/Ta 81



## 紀ノ川

有吉佐和子著  
新潮社 2006

文学部 文化遺産学科 芳井敬郎

### <請求記号>

新潮文庫/あ-5-1

有吉佐和子は実にうまい、読ませる作家である。本書は紀州和歌山県紀ノ川筋の素封家である真谷家の妻、花を主人公とし、彼女を取り巻く祖母、夫、子、孫の物語となっている。この小説は明治期から太平洋戦争後までの長丁場であるが、戦争を挟んで栄光の真谷家は急激に没落するのである。彼女の役割は家の永続であった。そのため、親類、使用人や近隣の者たちに対し、非の打ち所がない「ごっさん(奥さん)」を必要とした。それに彼女は十分に答えたが、敗戦後、民主国家となり、家制度は崩壊し、彼女の以前の価値観も崩れ去ってしまった。田地田畑を取り上げられた農地解放によって、彼女は「ごっさん」を演じる必要もなくなったのである。まさに家の崩壊は彼女の崩壊だが、そこに美学がある。崩れゆく美とは前提に豊富な美があって、それが消え去る美のことだが、この小説からは斜陽の美を感じざるを得ない。美しい小説である。本書は歴史上に名を残すような、壮烈な生きかたの女性を題材にしたものではない。いうなれば、流れに逆らわずに暮らした主人公を取り上げている。映画にもなったが、この平凡な小説の魅力はその衣服を初め、生活風俗が克明に書かれている点にある。その方面を専門とする私には他の歴史小説家を引き離し、完璧な風俗描写の出来る作家と賞賛せざるを得ない。日本一の歴史小説の書き手と評される司馬遼太郎はその小説のなかに風俗をほとんど描かない。それは心意現象を第一義としたためといえるが、その実、なかなかやっかいな歴史風俗の描写を考証することに時間を割きたくなかったのだろうか。そう考えるのは私の偏見であろうか。私は人の内面を具現化させたものが日常の身なりと、無意識のなかで見られる行動と考える。一般的に、作家は人の心意を、登場人物の会話から推し量らせようとする。しかし、日常、人は周辺の有り様を考えて述べられることが多い。そのため、会話や発言は虚構と疑って見る必要がある。むしろ、衣服やなにげない行動に、人格や真情は投影されていると考えたい。この本はそのことを悟らせる好書といえよう。



## 日本人の生命観：神、恋、倫理

鈴木貞美著  
中央公論新社 2008

外国語教育課程 潘文東

学生諸君は今20代で生命の途中におかれていると言える。それまでの人生でいろいろな苦悩や不安を経験したことがあるだろう。これからどう自由に生きられるか。自分で思い込むより読書してヒントを得るかもしれない。先祖はこのことについてどういう経験や教訓、知恵があったのか。この一冊でいままでの日本人はありありとした生きている姿が見られる。改めて「いのち」のことを考えてきつと「得大自在」ができると思われる。

### <請求記号>

中公新書/1979



### 中小企業の底力：成功する「現場」の秘密

中沢孝夫著  
筑摩書房 2014

社会福祉学部社会福祉学科 安田三江子

(3冊まとめたの推薦文を『仕事を通して人が成長する会社』に掲載。)

<請求記号>

ちくま新書  
/1065



### 仕事を通して人が成長する会社

中沢孝夫著  
PHP研究所 2010

社会福祉学部社会福祉学科 安田三江子

(3冊まとめたの推薦文を掲載)

ありふれたひとの中にこそ、まっとうな精神が宿り、ごくごく平凡な努力にこそ、無限の可能性がある。このことが実現できるひと、つまり、人の集まりである会社、こそが、明日の、日本を、そして、世界をも、切り拓いていく。学生時代は、この前哨戦である。自らを大事にし、知と親しめば(つまり本を読むこと)よい。このことを、これら3冊は優しい語りで教えてくれる、老若男女元気になれる本である。なお、筆者中沢は、私の大学院時代の職場の上司であり、30年近い知人である。変わらない人柄がこの本にもあふれている。さらに、余談だが、これらの本の主張と重なるが、職場とはありがたいものである。私は、最近ある研究者の方にお世話になる機会があった。中沢のそのまた上の上司が、私に知らせず、私のことをはがきで頼んでくださった。あまりに恥ずかしいが、やはり、感謝に尽きる。職場で、ともに時間をすごすということは、かけがえのないひとときなのである。これらの本を読みながら、自らの体験のありがたさを思った。とはいえ、大変な職場であった。しかし、大変だからこそ、ありがたさも増すのである。

<請求記号>

PHP新書/689



### 就活のまえに：良い仕事、良い職場とは？

中沢孝夫著  
筑摩書房 2010

社会福祉学部社会福祉学科 安田三江子

(3冊まとめたの推薦文を『仕事を通して人が成長する会社』に掲載。)

<請求記号>

ちくまプリマー  
新書/126